

栃木県地域女性活躍推進補助金実績報告書

市町村名: 小山市

1. 事業名	女性の人材育成・エンパワーメント支援事業 (女子高生サマーセミナー・おやマイクボス評定・トップセミナー・女性異業種交流会)
2. 実施期間	平成31(2019)年4月1日 ～ 令和2(2020)年3月17日
3. 事業の趣旨・目的	誰もが働きやすく、自分らしくいきいきと過ごすことのできる社会を目指すために、様々な立場、世代に向けて啓発や気づきが必要との考えから、各種セミナーや交流会を実施した。 具体的なキャリアプランを考える時期にある女子高校生を対象に、女性活躍推進者の講話を通じて、将来の進路や職業観の形成に必要な視点を養い、自身が希望する職業に就き、キャリアを継続して活躍できる機会の提供を目的に実施した。進学を機に小山市から転出する女子高校生が少なくない現状を踏まえ、進学による転出があっても、就職のためにUターンするような地元回帰のきっかけとなることを期待するものである。 長時間労働などこれまでの労働慣行を見直すと共に、部下のワーク・ライフ・バランスの推進や女性の活躍、男性の家事・育児参画に対する事業所のトップの理解をより深めるため、「おやマイクボス評定」の登録事業所を新たに募集し、「働き方改革」や「イクボス」への理解を深められるよう、情報提供や登録事業所での先駆的な取組の学びあいや情報交換を行う交流会を実施した。 事業所の経営者や人事・管理部門の職にある担当者などを対象として、女性活躍や働き方改革に対するトップの理解を深めることを目的に「ダイバーシティの推進」をテーマとした「トップセミナー」を開催した。また、技術職の女性や次世代の管理職を目指す女性を対象とした「異業種交流会」を開催し、女性自身のモチベーションを高める働きかけを行った。「小山地区定住自立圏共生ビジョン」をもとに、近隣市町(下野市、野木町)、隣接県外市(茨城県結城市)と連携を図りながら、広域的に女性活躍推進の機運が高まる取組を促進できるよう「トップセミナー」と「女性異業種交流会」を継続的に実施した。
4. 事業内容	①女子高生サマーセミナー(新規事業) 若年層のキャリアデザイン事業として、女子高校生に向けたセミナーを開催した。具体的なキャリアプランを考える時期にある女子高校生を対象に、働く女性を取り巻く社会環境や女性のライフコースにおいて直面する課題について知識を得ると同時に、実際にそれらを乗り越えてきた女性たちの経験談や話し合いを通して、将来の進路や職業観の形成に必要な視点を養い、自身が希望する職業に就き、キャリアを継続して活躍できる機会の提供を目的に実施した。 ②おやマイクボス評定(新規事業) 昨年度実施した「おやマイクボス合同宣言」を継続的なものとするため、「おやマイクボス評定」として、セミナーや交流会を開催し、市内事業所の経営者や人事管理担当者等の意識改革を進めた。「おやマイクボス評定」では、「働き方改革」や「女性活躍」をより実践的に取り入れるためのセミナーを開催し、交流会では各事業所の先駆的な取組の学びあいや情報交換を行った。さらに、「おやマイクボス評定」の拡大を目指し、通年で新たに登録する市内事業所を広く募集した。 ③「トップセミナー」(継続事業) 事業所の経営者や人事・管理部門担当者、就労者、市民を対象に、「ダイバーシティの推進」をテーマとした講演会を開催し、講演会前に、ワーク・ライフ・バランスへの取組における先進事業所による取組発表を行った。 ④「女性異業種交流会」(継続事業) 技術職の女性や次世代の管理職を目指す女性のための「異業種交流会」を3市1町の行政職員と民間企業等で開催し、キャリアデザインとリーダーとなるモチベーションを向上させる内容の講話とグループワークを実施した。女性活躍やワーク・ライフ・バランスにおける先駆的な取組をしている事業所の協力を得て、職場見学を行い、より実践的なイメージが抱けるような交流会を目指した。

5. 事業効果及び 効果検証の概要	参加者が、自らの意識変革の必要性を感じ、自身のおかれた環境において自発的かつ積極的に行動することが期待される。また、市内や連携協定自治体においても、女性活躍や働き方の見直しなどについて理解を深めた事業所が、職場環境の改善や活力ある職場づくりに向けた取組を推進することが期待される。 参加者のアンケートの集計結果や事業目標の達成度から、事業内容の方向性は時代に即したものであり、参加者の求める内容に意識の醸成や啓発に一定の効果があつたと思われる。また、小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定事業への申請や「おやマイクボス評定」への登録事業所が徐々に増加していることから、事業実施による意識の醸成に効果があつたことを示す。					
6. 目標達成度及び 達成状況に対する評価	実施計画時に設定した事業目標については、ほとんどの項目において目標値を超えることができた。特に、小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定数とおやマイクボス評定登録事業所数については、年々事業所の自発的な申請も増えてきており、事業所自体の意識変化が感じられる結果となっている。また、セミナーや講演会の参加者アンケート集計結果によると、女性活躍に対する意欲度が9割となり、事業継続の一定の評価に値する。					
7. 今後の課題	セミナーや交流会の開催にあたっては、「女性活躍推進」のために、今、何が求められているかを十分に情報収集や調査を行い、企画立案に熟慮を重ね、さまざまな媒体を上手に活用した広報活動に力を注ぎ、対象者に開催の周知を気づかせ、参加を促す必要がある。 女性の政治や自治会への参画を促す取組がますます重要となる。自治体としての取組に限られる部分もあるが、あらゆる分野に女性の進出を促進するため、工夫を凝らした啓発等が求められる。また、女性活躍推進のためには、男性の家庭参画も必要な要素の一つであることから、男性の子育てや家事に関する支援を盛り込んだ啓発やセミナーなどの実施が課題となる。					
8. 事業の実施体制	おやマイクボス評定協議会、小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者 栃木県、下野市、野木町、茨城県結城市 小山商工会議所、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会、小山市工業団地連絡協議会、小山市工業会、小山市金融団 おやま女性活躍応援塾、小山市男女共同参画審議会、小山市男女共同参画推進協議会					
9. 経費の内訳 (単位:円)						
事業 番号	個別事業名	総事業費 (A=B+C+D)	本交付金 (B)	他の寄付金等 (C)	自己資金 (D)	備 考
①	女子高生サマーセミナー	140,466	70,000		70,466	
②	おやマイクボス評定	7,202	3,000		4,202	
③	トップセミナー	533,009	266,000		267,009	
④	女性異業種交流会	291,050	146,000		145,050	
	合 計	971,727	485,000	0	486,727	